

知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）

知多南部広域環境センター整備事業に係る

環境影響評価方法書の概要



武豊町の花 「サザンカ」

平成27年7月

武 豊 町

はじめに

環境影響評価方法書（以下「方法書」といいます。）は、「愛知県環境影響評価条例」（平成10年愛知県条例第47号）に基づき、平成26年12月に公表した計画段階環境配慮書及び知事意見等を踏まえて、現段階で想定する事業計画に対して、今後実施予定の環境影響評価において、どのような項目について、どのような方法で調査、予測及び評価を実施するのかを公に示し、みなさまからのご意見を頂戴するためのものです。

今後は、頂戴のご意見を踏まえて、実際に実施する環境影響評価の方法を決定し、調査、予測及び評価を実施していきます。

知多南部広域環境センター整備事業について

知多南部広域環境組合では、愛知県が策定した「愛知県ごみ焼却処理広域化計画（平成10年10月）」を受けて、知多南部地域で稼働中の3つのごみ焼却施設を1施設に集約した新たなごみ焼却施設の整備を行います。

新たなごみ焼却施設の整備は、スケールメリットを生かし、環境への負荷、施設建設及び運営コスト等の縮減を図り、循環型社会の形成、周辺環境及び地球環境の保全に配慮したものとし、知多郡武豊町字一号地地内において整備を実施します。

現有施設の状況

名称	半田市クリーンセンター	常滑武豊衛生組合 クリーンセンター常武	知多南部衛生組合 知多南部クリーンセンター
処理対象区域	半田市	常滑市、武豊町	南知多町、美浜町
処理能力	150t/日 (75t/日×2炉)	150t/日 (75t/日×2炉)	112.5t/日 (56.25t/日×2炉)
炉型式 (処理方法)	全連続燃焼式焼却炉 (ストーカ方式)	全連続燃焼式焼却炉 (ストーカ方式)	全連続燃焼式焼却炉 (ストーカ方式)
稼働開始時期	平成3年3月	平成2年3月	平成10年4月

新たなごみ焼却施設の概要

項目		計画諸元
ごみ 焼却 施設	炉型式（処理方式）	全連続燃焼式焼却炉（ストーカ方式）
	処理能力	283t/日（141.5t/日×2炉）
	処理対象ごみ	可燃ごみ等
	煙突高	約59m
	排出ガス量	（湿り）約74,000m ³ _N /h（約37,000m ³ _N /h×2炉）
	排出ガス処理設備	ガス冷却塔、バグフィルタ、触媒反応塔等の排ガス処理設備の設置を計画する。
その他の施設		破碎施設

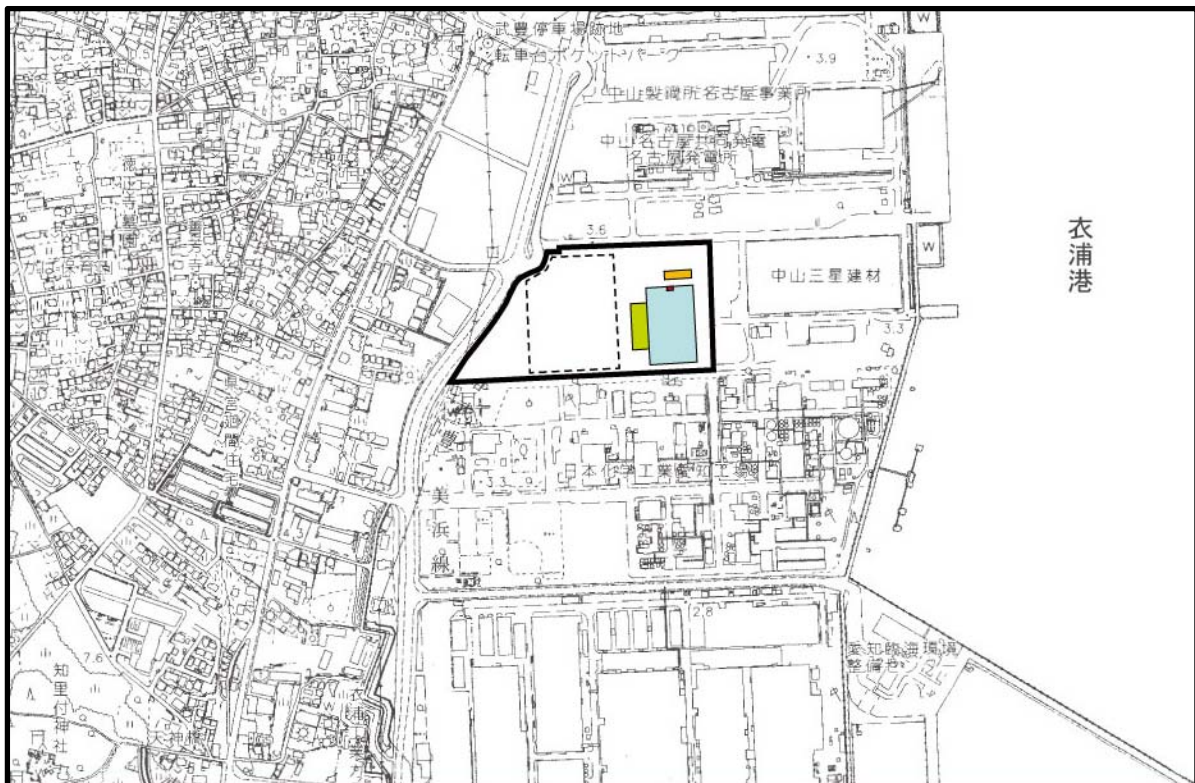
注）「排出ガス量」は、現有施設のメーカーへのヒヤリング調査をもとに設定したものであり、今後の予測・評価の検討時には、事業計画の検討状況に応じて設定し直します。

工事工程

項目	1年次 (平成30年度)		2年次 (平成31年度)		3年次 (平成32年度)		4年次 (平成33年度)		5年次 (平成34年度)	
	(4月)	(3月)	(4月)	(3月)	(4月)	(3月)	(4月)	(3月)	(4月)	(3月)
仮設工	→									
敷地整地	→									
杭打ち・基礎工			→							
RC施工			→							
鉄骨施工			→							
仕上げ					→					
プラント工					→					
電気工					→					
外構工							→			
試運転							→			
施設の供用									→	

注) 現有施設のメーカーへのヒヤリング調査結果から、過去のごみ処理施設における建設工事で、一般的に想定される工程を示したものであり、今後の詳細な工事計画の検討結果に応じて変更します。

事業実施区域の位置及び計画施設の配置



- : 事業実施区域
- : ごみ焼却施設
- : 破碎施設
- : 管理棟
- : 煙突
- : 進入路、待避場等

注) 個々の施設の配置等は、県内の類似施設を参考に設定したものであり、今後の事業計画の検討の中で決定します。



0 100 200m
1/10,000

環境影響評価の項目の選定

環境要素の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在	土地又は工作物の供用				
			資材等の搬入及び搬出	建設機械の稼働等	掘削、盛土等の土工	地形改変並びに工作物等の存在	ばい煙の排出	機械等の稼働	汚水の排出	廃棄物等の搬入及び搬出	施設からの悪臭の漏洩
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気質	硫酸化合物					○				
		窒素化合物	○	○			○			○	
		浮遊粒子状物質	○	○			○			○	
		粉じん等	○	○	○						
		有害物質等					○				
	騒音及び超低周波音	建設作業等騒音		○							
		施設からの騒音						○			
		道路交通騒音	○							○	
		低周波音						○			
	振動	建設作業等振動		○							
		施設からの振動						○			
		道路交通振動	○							○	
	悪臭	特定悪臭物質、臭気指数									○
	水質	水素イオン濃度			○						
		水の汚れ（化学的酸素要求量等）							○		
		水の濁り（浮遊物質等）			○						
		富栄養化							○		
		有害物質等									
	地形及び地質	重要な地形及び地質									
	地盤・土壌	土壌環境			○		○				
地下水の状況及び地下水質	地下水の状況			○	○						
	地下水質			○							
日照阻害					○						
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地		○	○	○					
	植物	重要な種及び群落			○	○					
	生態系	地域を特徴付ける生態系	生	○	○	○					
人と自然との豊かな触れ合いの確保及び地域の歴史的文化的特性を生かした快適な環境の創造を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	景観資源及び主要な眺望点並びに主要な眺望景観				○					
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○							○	
	地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況		○							○	
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	廃棄物					○	○	○		
		残土その他の副産物			○						
	温室効果ガス等	温室効果ガス等	○	○			○	○		○	

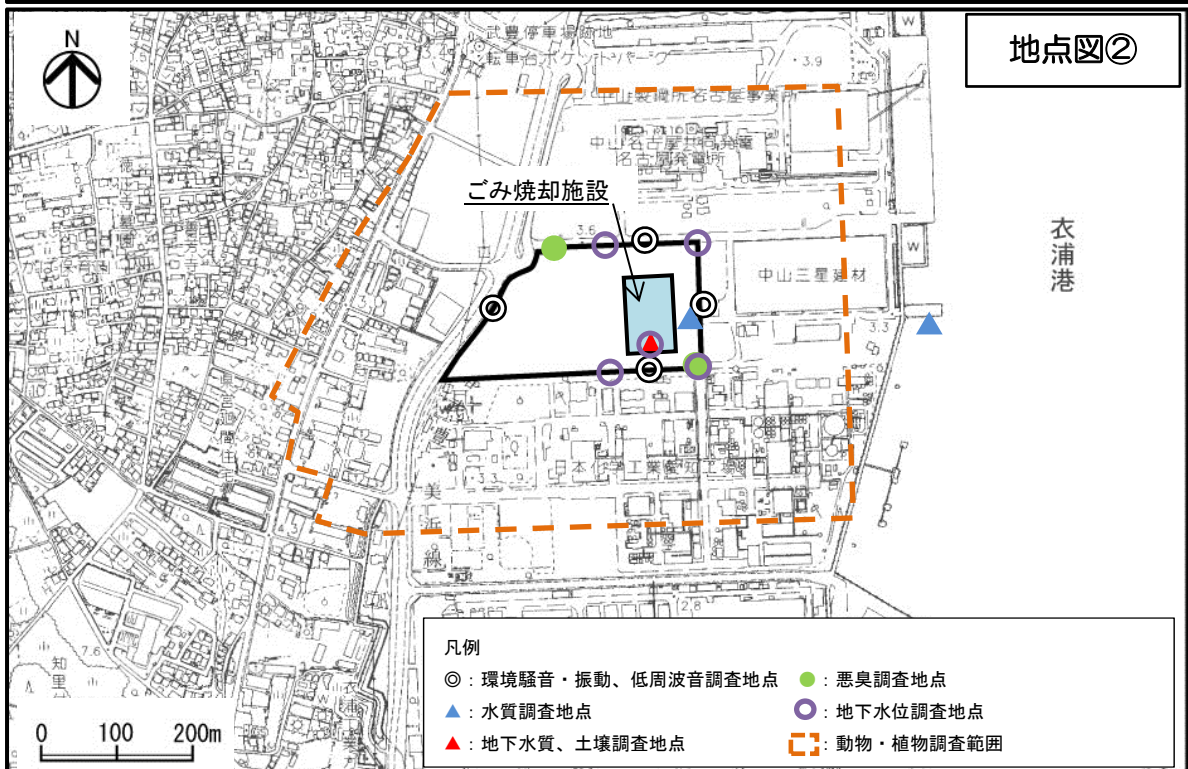
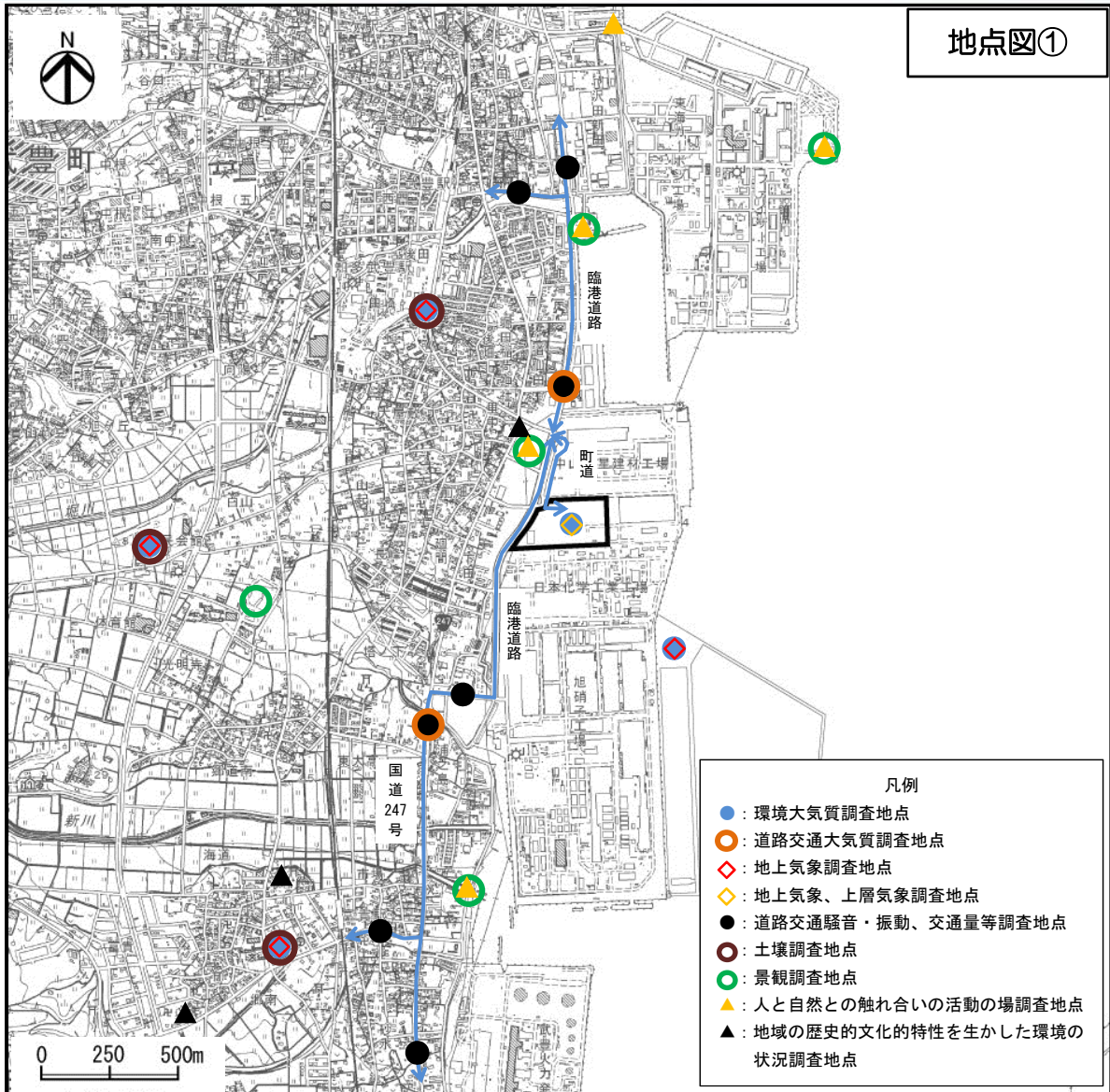
注1)○：環境影響評価の項目として選定したものを示します。

2) 網掛けは、「環境影響評価指針」の別表第1の参考項目を示します。

現地調査の内容

項目	調査対象	期間、時期等	地点数	
大気質	環境	・二酸化硫黄 ・窒素酸化物 (二酸化窒素及び一酸化窒素) ・浮遊粒子状物質	・1年間連続	・事業実施区域内1地点
			・四季に各1週間連続	・周辺地域4地点
	地点図①を参照	・微小粒子状物質 ・有害物質等 (塩化水素、水銀及びダイオキシン類)	・四季に各1週間連続	・事業実施区域内1地点 ・周辺地域4地点
		・粉じん等	・四季に各1ヵ月間	・事業実施区域内1地点
	道路交通	・窒素酸化物 (二酸化窒素及び一酸化窒素) ・浮遊粒子状物質	・四季に各1週間連続	・工事用資材等運搬車両等及び廃棄物運搬車等の主な走行ルート沿道2地点
	地点図①を参照	・交通量等	・平日及び土曜日の各24時間	・工事用資材等運搬車両等及び廃棄物運搬車等の主な走行ルート上の7断面及び7区間
	地上気象	・風向、風速、気温、湿度 ・日射量、放射収支量	・1年間連続	・事業実施区域内1地点
	地点図①を参照	・風向、風速	・四季に各1週間連続	・周辺地域4地点
	上層気象 地点図①を参照	・風向、風速 ・気温	・四季に各1週間連続 (1日当たり8回)	・事業実施区域内1地点 (地上1,500mまで)
	騒音、振動及び超低周波音	環境	・環境騒音 ・地表面の状況	《建設作業等騒音》 ・平日、土曜日の各24時間 《施設からの騒音》 ・平日、休日の各24時間
・環境振動 ・地盤の状況			《建設作業等振動》 ・平日、土曜日の各24時間 《施設からの振動》 ・平日、休日の各24時間	
地点図②を参照		・低周波音	・平日、休日の各24時間	
道路交通		・道路交通騒音 ・沿道の状況 ・交通量等	・平日、土曜日の各昼間 (6時～22時)	・工事用資材等運搬車両等及び廃棄物運搬車等の主な走行ルート沿道7断面
地点図①を参照		・道路交通振動 ・沿道の状況 ・交通量等	・平日、土曜日の各昼間 (7時～20時)	
悪臭		地点図②を参照	・特定悪臭物質 ・臭気指数	・夏季の平日に1日1回
水質	地点図②を参照	・水素イオン濃度 (pH) ・化学的酸素要求量 (COD)	・四季に各1回	・排水の放流先となる海域
		・浮遊物質 (SS)、流量	・降雨時2回 (ピーク時を含む複数回)	・排水の放流先となる海域及び事業実施区域内の排水口
	・全窒素 (T-N)、全燐 (T-P)	・四季に各1回	・排水の放流先となる海域	
	・土質の状況	・1回	・掘削等の土工の位置の1地点	
地盤・土壌	地点図①及び②を参照	・有害物質 (環境基準項目及びダイオキシン類)	・1回	・事業実施区域内1地点
		・有害物質 (ダイオキシン類)		・周辺地域3地点
地下水の状況及び地下水質	地点図②を参照	・地下水位の状況	・四季に各1回	・事業実施区域内5地点
		・地下水質の状況(環境基準項目及びダイオキシン類)		・事業実施区域内1地点
日照阻害		・土地利用及び地形の状況	・1回	・事業実施区域周辺
動物	地点図②を参照	・哺乳類	・春季、夏季、秋季及び冬季に各1回	・調査地域のうち、環境影響を予測及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路
		・鳥類	・春季、繁殖期、夏季、秋季及び冬季に各1回	
		・猛禽類	・1月～8月	
		・昆虫類	・早春季、春季、初夏季、夏季及び秋季に各1回	
		・両生類、は虫類	・早春季、春季、夏季及び秋季に各1回	
		・クモ類	・春季、夏季及び秋季に各1回	
		・貝類	・夏季及び冬季に各1回	
植物	地点図②を参照	・植物相及び植生の状況	・早春季、春季、夏季及び秋季に各1回	
生態系		・動植物その他の自然環境に係る概況等	・動植物の調査時期に準じた時期	
景観	地点図①を参照	・主要な眺望点の状況等	・四季に各1回	・事業実施区域周辺5地点
人と自然との触れ合いの活動の場	地点図①を参照	・人と自然との触れ合いの活動の場の状況等	・年に2回程度	・事業実施区域周辺5地点
地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況	地点図①を参照	・主要な歴史的文化的環境の状況	・年に2回程度	・事業実施区域周辺3地点

現地調査の位置



現地調査のイメージ

大気質調査



上層気象調査



騒音・振動調査



悪臭調査



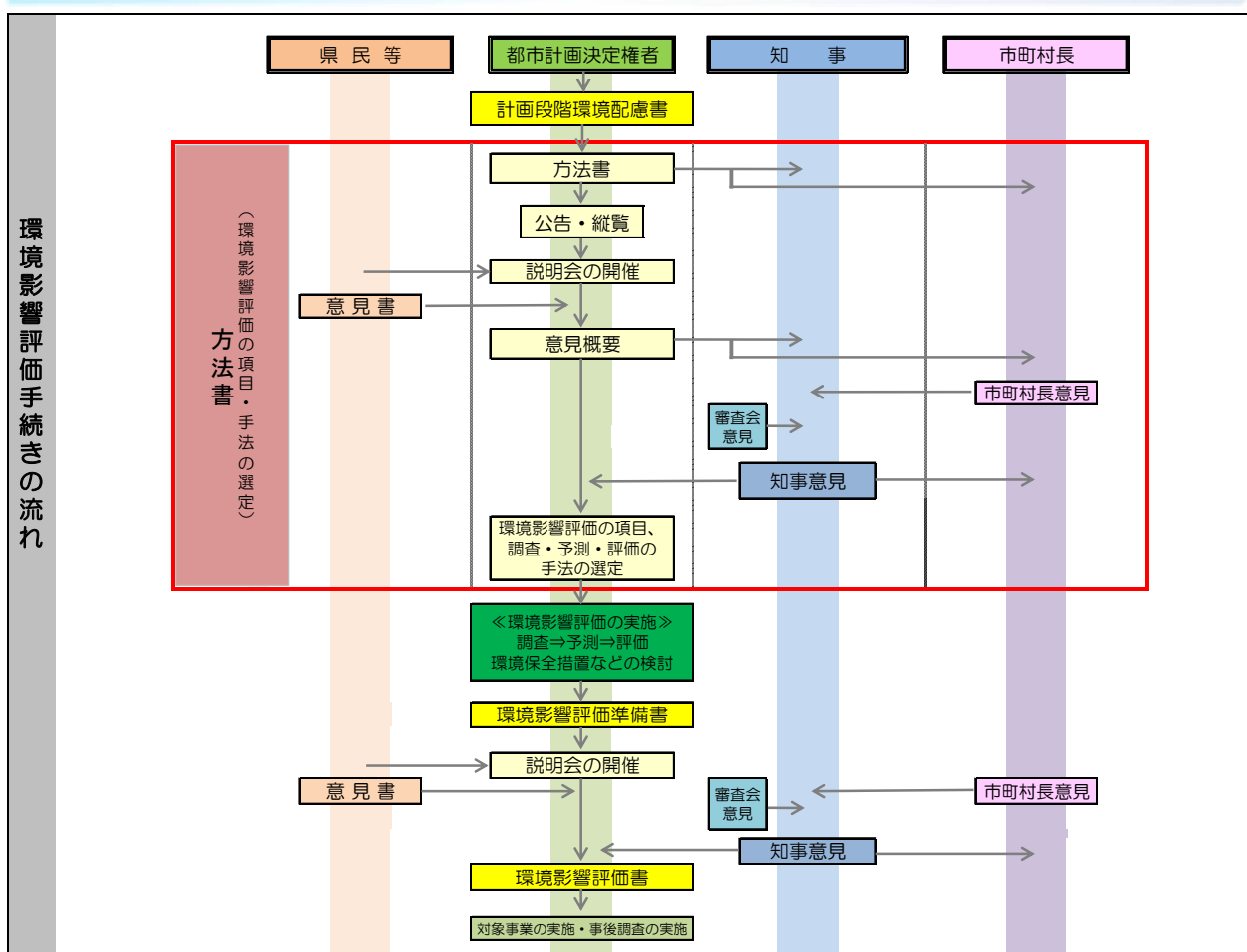
土壌調査



動物(鳥類)調査



環境影響評価の手続きの流れ



参 考

(1)方法書の縦覧

方法書の内容は、下記の期間、時間及び場所でご覧いただけます。

縦覧期間	平成 27 年 7 月 21 日(火)～平成 27 年 8 月 20 日(木)《土曜・日曜を除く》
縦覧時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
縦覧場所	・半田市市民経済部環境課 ・碧南市経済環境部環境課 ・南知多町厚生部環境課 ・武豊町生活経済部環境課 ※方法書は、武豊町のウェブページ (http://www.town.taketoyo.lg.jp/) でもご覧になれます。 ・半田市市民経済部クリーンセンター ・常滑市環境経済部生活環境課 ・美浜町経済環境部環境保全課

(2)意見書の提出

方法書について、環境の保全の見地からの意見書を提出することができます。

提出先	〒470-2392 愛知県知多郡武豊町字長尾山 2 番地 武豊町生活経済部環境課
提出期限	平成 27 年 9 月 3 日(木) ※郵送の場合は、3 日までの消印有効
備 考	《意見書に必要な記載事項》 ①意見書の対象となる方法書の名称 ②住所及び氏名(法人その他の団体は、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地) ③方法書についての環境の保全の見地からの意見

(3)方法書説明会の開催

日時・会場	平成 27 年 8 月 7 日(金) 午後 7 時～ 武豊町民会館 響きホール(武豊町字大門田 11) 平成 27 年 8 月 9 日(日) 午後 2 時～ 武豊町中央公民館 視聴覚室(武豊町字山ノ神 20-1)
備 考	事前の参加申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

(4)問合せ先

問合せ先	武豊町生活経済部環境課 TEL 0569-72-1111 (代表) 知多南部広域環境組合 TEL 0569-84-1007
------	------------------------------------------------------------------

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200,000 (地図画像) 及び電子地形図 25,000 を複製したものです。(承認番号 平 27 情複、第 220 号)

なお、第三者が本書に掲載する地図を更に複製する場合には、国土地理院長の承認を得る必要があります。

本書は、森林の保全と適切な管理に配慮して認証を受けている FSC 認証紙を使用しています。